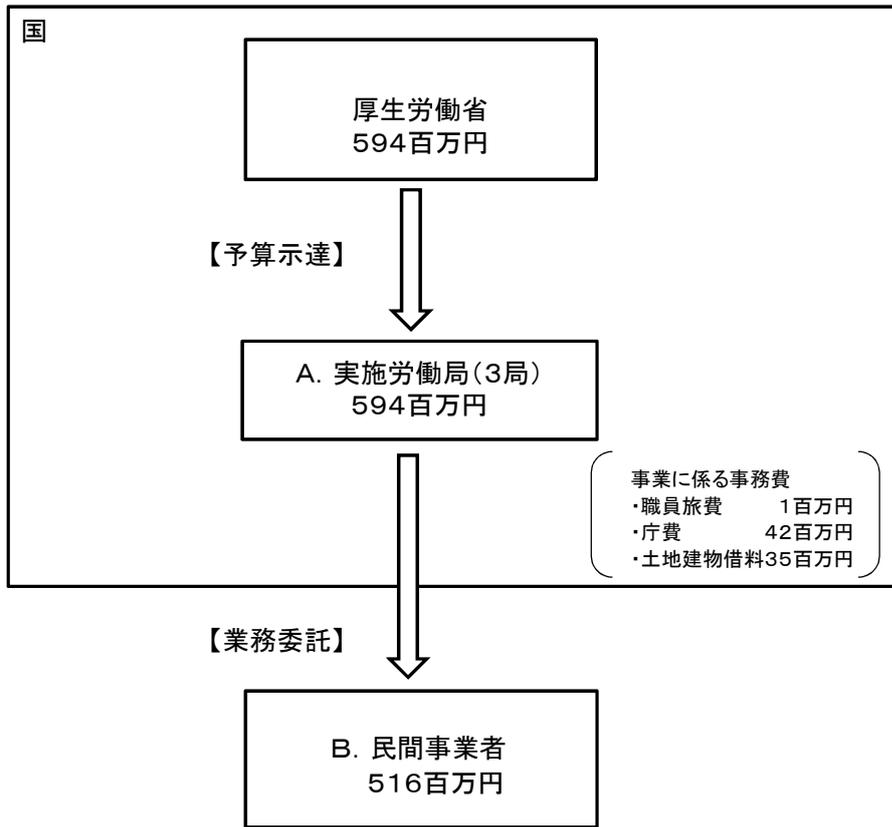


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	3施設キャリアコン・セミナー事業 (仮称)			<b>担当部局庁</b>	職業安定局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	首席職業指導官室	首席職業指導官 浅野 浩美		
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定			<b>政策・施策名</b>	IV-1-1: 公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること			
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号			<b>関係する計画、通知等</b>	公共サービス改革基本方針(平成27年7月10日閣議決定)			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障			
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	平成28年度から、東京、愛知、大阪のマザーズハローワーク、わかものハローワーク、新卒応援ハローワークの求職者に対して、民間人材ビジネスを活用したキャリア・コンサルティング、就職支援セミナー、心理カウンセリング等について「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」(平成18年法律第51号)に基づく民間競争入札を導入して実施し、外部労働市場全体としての更なるマッチング機能の強化を図る。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	東京、愛知、大阪のわかものハローワークに隣接する場所にキャリア・コンサルティングセンターを設置し、マザーズハローワーク、わかものハローワーク、新卒応援ハローワークの求職者に対して、民間人材ビジネスを活用したキャリア・コンサルティング、就職支援セミナー、心理カウンセリング等の支援を求職者の状況に応じて実施する。 なお、マザーズハローワークにおいては、託児サービス付きの就職支援セミナーを実施する。							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	594	
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	594	
	執行額	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度
	支援利用者へのアンケート調査においてサービスの内容が役に立ったと回答した者の割合80%を設定予定	支援内容の有用性を設定予定	成果実績	%	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	求職者向けセミナーの開催回数を設定予定	活動実績	件	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X: 執行額(千円)/ Y: 支援利用者数(人)	単位当たりコスト	円	-	-	-	-	
		計算式	X/Y	-	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	<b>費目</b>	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0	1					
	庁費	0	42					
	土地建物借料	0	35					
	職業講習等委託費	0	516					
	計	0	594					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は、求職者にとって、早期に良質な雇用機会を確保することが可能となるよう、民間人材ビジネスの積極的な活用により、外部労働市場全体としてマッチング機能の強化を図るものであり、多様化する求職者の幅広いニーズに応えるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、国が行うセーフティネットとしての職業紹介の一環として、時間をかけたきめ細かいカウンセリング等の継続的な取組みが必要な者に対する就職支援を実施するものであるため、国が率先して実施すべきと考える。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	現下の雇用情勢を鑑み、多様化する求職者の幅広いニーズに迅速かつ効果的に応ずるため、民間人材ビジネスにおけるノウハウ等も活用し労働市場全体としてマッチング機能の強化を図ることは最優先課題である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、民間活用によるキャリア・コンサルティング等就職支援事業の実施県以外の都府県において、民間事業者の更なる活用を図る観点から、キャリア・コンサルティング以外にも、就職支援セミナー・心理カウンセリングも委託することとしている。また、支援対象者についても、フリーター等に加え、新規学卒者、子育て中の女性と幅広く対象にしている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省・職業安定局	495	民間活用によるキャリア・コンサルティング等就職支援事業		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

**支出先上位10者リスト**

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					